

洛星新闻

印刷 吉川印刷工業所

第十四回 体育祭

まず競技運営に、大幅に生徒会に任せられる。これまでは学校が主催し生徒会が協催するという形で行われてきたが、今年はテストケースとして、生徒会が大巾に運営を委ねられるようになった。

具体的には競技役員は先生、生徒半々であったのが、全員を生徒で占め、各教科から一人ずつの先生が指導に当たられるということである。

將來は生徒が主軸という形に持
って行きたいとのことである。

次には準備期間が非常に短かい
ところがある。例年は中間考査が終
つてから当日まで、一週間ばかり
あったが、今年は四日しかない、
その為、中間考査のない高三を除
いて、いつも準備が非常に苦しい
ところ。

また会場設備は、新講堂建設工事が進行中の為グラウンドが狭くなった。このため本部席を従来のパレーコートに設置し、応援席を南側一列に並べる。

応援席は鉄骨で組み立てられ、これは従来のようにヤグラを立てるとグラウンドが非常に傷むため、今度もできるだけクイを打たないようにする、将来は鉄骨だけにしたいとのことである。

このように今年の体育祭は例年と異なり、やりにくい面もあるが、生徒会の自主的な運営に委される方向になっているのは喜ばしいことであり、会員の活躍が期待される。

最後にクラス別応援のテーマと仮装行列のテーマを掲載しておく。

第十四回 文化祭

例年の如く中間調査も済み、いよいよ今学期いや今年度最大の行事である記念祭も真近に迫つて来た。創立以来行われて来たこの行事も今年で十四回目を向えることとなった。昨年には第二回洛星会館が出来、今また新講堂が建設されている。年々新しくなり、日々移り變つて行く、その進歩発展の途上にあるのが、今の洛星と云えよう。そうした中で第十四回記念祭はどのような形で行われるのだろうか。そこで、係の諸先生、生徒会役員に聞いてみることにした。

プログラム

文化祭プログラムが、この度は決定された。今年は中高別々に講堂を使用する結果、例年とはかなり形の異なったものとなった。

われる。年々、合唱、演劇共に高き閉会式、また六時から恒例のフアイヤーが行われる。今年もその傾向が見られようである。

以上が今年の文化祭プロ

今年は前夜祭がなくなり、開会式が文化祭前日の二十八日午前中に行われる。開会式には記念講れ、高校三年生全員による合唱及修正はあるものと思われる。文化祭最終日の三十日には午前中だが、これらはあくまでも中・高共残りの演劇が上書き確定したわけでなく、今後決まらぬ。

文化祭プログラム

29日(金)

| | | | |
|---|-------------|---|---|
| 中 | 8:40~9:20 | 劇 | |
| | 9:35~10:15 | 夕 | |
| | 10:30~12:20 | 合 | 唱 |
| 高 | 1:20 | 集 | 合 |
| | 1:25~3:25 | 合 | 唱 |

30日(土)

| | | |
|-------------|-------|---|
| 高8:40~9:30 | 劇 | |
| 9:45~10:35 | 劇 | |
| 中10:45 | 集 | 合 |
| 10:50~11:30 | 劇 | |
| 昼食 | | |
| 中12:50~1:30 | 高3合唱 | |
| 1:40~2:20 | ESS演劇 | |
| 全3:20~4:20 | 閉会式 | |
| 6:00 | ファイヤー | |

文化祭

今年の文化祭について

高校生徒会

今年の文化祭は特殊な型のものになりそうです。今までのようなあの小さな講堂に中・高生徒全員が入りっぱなしという文化祭とも、又来年から行われるなら新講堂での大規模で豪華な文化祭とも違うものです。生徒数増加の為に今年の講堂では全生徒を収容するのが精いっぱい、もし二日間も入りつめたなら衛生上たまたまのではありません。新しい文化祭を考へなくては、という問題にぶつかったのが今年です。「新しい型の文化祭を作らなければならぬ」といふことを聞いた時、僕達は「今こそ洛星の転機だ。洛星に新鮮な風を入れ、大きく成長するきっかけを作る機会は今しかない」と考へました。そこで心に描

いたのが、生徒によって作られた文化祭、すなわち計画から運営進行まで全て生徒がする、生徒会を核に全生徒が仕事を分担して作る生徒の世界、というような文化祭でした。徐々に現実的な輪郭が形づくられてゆき、文化祭はあくまで学校行事であり教育の一環だという事、生徒だけでは処理できない問題が多く、先生の出馬を頼むなければならない事などがはつきりしてきました。しかし「できる限り生徒が文化祭の中心となつて活動する」という目標は変りませぬ。この考へが学校側の「生徒全員が参加する文化祭」という考へとつまきあいました。講堂の広さから考へて中学と高校が別れて文化祭をしなければならぬという

めどがついてくると、今度は講堂に入らない時の生徒はどうするかという問題に頭をひねりました。何か講堂の外に会場を作つてできる事を考へなければなりません。そこで今まで影の薄かった個人展示会をクロスアップして、今まではあったクラブ展示会と新しく全生徒が参加できるものとして個人展示会を行なうことにしました。他にも最良の催しであるバザー（女学校のようにエプロンなど考へるのではない。模擬店を始めとし、映画や討論会なども考へました。こうして会場数が増えた結果、文化祭は僕達生徒の意見も通されて三日となり、第一日は開会式と全生徒による準備に使用されることになりました。こうして現在に至っているわけです。どうかこれから洛星に来る後輩達の為にも、今生まれつつある洛星の新生を守つてやってくさい。

高校生徒会長 若松 博

でホームルームをフスの置
し合ひの時間だと思つてい
は……。それがたんだん考え違
なつてきた。このままだと君達
もそうなるだろう。それはあま
りよくない、皆で話し合つこと
を忘れてはいけない。これから
はいろいろな問題が出てくる。
家のことや学校のこと、そして
その中にいる自分のこと。皆で
言い合ふのだ。ホームルームに
はいつも、というわけではな
い。飽きもせず一時間つづいたこと
を覚えてゐる。小学校の時にさ
えあつた時間を中学校で作らな
いなんておかしいじゃないか。
しかも落星で、一度ふりかえつ
てみてほしい。

僕が出た小学校には毎朝「行
進の練習」という時間がありま
した。そして運動会には四年生
から六年生までが行進をして一
般の人に見せました。何とも言
い。ともかくこの頃は大きい事
から小さい事まで何をやる時で
も何かに押されて情性的に動い
てしまふ。自分を客観的に見つ
め批判することをお忘れてしまつ
ています。「前にならえ」は手
をのばしてしなければならぬ
のに自分ばかりしてない、とい
うに判断さえ……。目の前だけを
ながめているだけで、後には何
も残っていません。何事にも意
図だと思ひます。

僕はいつでも大きな夢をもつて
いるという事が大切だと思つて
います。受験前にはそんな事考
えない方がよいのかしれませ
ん。不完全だが熟練した者に未
熟な者が指図をするのは間違つ
ていますし、僕にもどうしたら
よいのかわかりません。けれど
もこういう事は僕達が考えない
で放っておくわけにいかない問
題だと思ひます。

の様な無理をすゝめよは中・高校生別に講堂を使用し、空いた場所へ寄まで来ていたことが出来なかつた兄を招待した方が良いはないかとの意見もあり、こうなつた処置がとられたわけである。この爲、中学生の中には高校生の連続した演技を見られず残念に思っている人も居ることと思う、また在校生の中にも中学生の無邪気な言葉遊びを羨しめないで残念に思つた人達の爲に、生徒会では整理券を出して希望者には見ても見るようにしたいのだが、こうした方方には会場内の整理価値が半減したわけではない。な

ることもあって、実現されることがなつた。四、五年前から規模の大小だけがその催しの行われ、生徒の縦の関係、横の關係の上に少なくならず貢獻してきた芸能が形を変えざるを得なくなり、アトラクションのような形となつては、いちがいに講堂の規模だけが問題とは言えうになつた。昨年の文化祭の芸能の運営はあまりスムーズではな、ただ時を無爲につぶした感が少なからあつた。また、今年は、刻期的な音楽が流行している様でもあり、昨年の二の舞を踏むのではなやかと懸念される。そこでこうして、芸能は形を変えることとなつたやうだが、それによつて芸能の価値が半減したわけではない。な

展 示 会

今年から新たに計画されたものとして、個人展示会がある。これらは、校長先生の肝入りで、文化祭には生徒が全員参加してこそ意義があるとの主旨が行われることになった。

今のところ、写真部門のみ審査部決定され、文化祭での発表を持つているが近いうちに残る部門も決定されることと思ふ。展示には第二星室金館が使用されることになっている。残念なことだが学校の主旨にもかかわらず、作品提出が非常に少なく、それが高学年になる程激しいとのことである。

クラブ展示会は一応教室で行われる予定である。

展示会

各クラスの曲目

M1. A. 野を越え丘を越え
ランランラン
B. 旅愁・錨を揚げて
C. カリ・紅葉
D. ウグイス・アルプスの山

M2. A. 猫・黒ん坊とピビとボボとべべ
B. チリビリン・母なるボルガ
C. 汽車・こがらしの歌
D. ブルドック・一週間

M3. A. 遠き山よ・こがらしの歌
B. ともしび・麦ふみ
C. 風・平城山

H I. A. 鳥の子守歌・蛇祭り行進
B. 最上川舟歌・秋のビエロ
C. THIS OL HAMMEA・外山節
D. 未 定

H II. A. ユリカゴ・まぢほうけ
B. 汽車ポッポ・ボルガの舟歌
C. 右衛門・風の中の乞食
D. 人間の歌・菩提樹

H III. A. ふるさと・ALOUETTE
B. 花はどこへいったの
サンフランシスコの思い出
C. 作品第肆・佐渡おけさ
D. 粉の歌・富嶽の嶺

各学年の演劇名

| | |
|---------------|-------|
| HⅢ「卒業延期」 | 山本 節弥 |
| Ⅱ「屋上の狂人」 | 菊地 寛 |
| I「ダイナマイトと蛙たち」 | 柴田 北彦 |
| M3「天になく山羊」 | 柴田 北彦 |
| 2「四人医者」 | 青江舜二郎 |
| 1「月夜の河童」 | 阿坂卯一郎 |

